

「母間小学校の池間棒踊り伝承活動の取組」

1 学校名

徳之島町立母間小学校

2 学年・人数

3年～6年及び職員（計32人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和2年7月～9月 総合的な学習の時間（6時間）
母間小学校体育館及び校庭

(2) 発表の日時・場所

令和2年9月20日（日）
徳之島町立母間小学校 第73回秋季大運動会
母間小学校校庭

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

(1) 名称

池間棒踊り（いけまぼうおどり）

(2) 由来

大正時代，徳之島町下久志集落の青年たちが仕事の関係で奄美大島の龍郷町屋入鉦山で働いていた時，鹿児島から来ていた鉦山師が，祝いの席などで勇ましい棒踊りを披露した。下久志集落の青年たちは，その魅力にひかれ，棒踊りを習得した。

その後、帰島した際に様々な行事で棒踊りを踊った。それを見て心を揺り動かされた池間集落の青年たちも下久志の棒踊りを手本に「池間棒踊り」を完成させた。

（昭和63年10月15日 徳之島町無形民俗文化財に指定）

(3) 構成等

4人一組で赤組，白組と2人ずつに分かれて踊る。2部構成で前半は，赤白どちらも六尺棒を持って踊る。後半は，白組だけが短い三尺棒に持ち替えて踊る。

保存会の号令，あいさつ，歌始めと進み，歌に合わせて勇ましく棒を打ち合わせたり，相手が振り下ろす棒を受けたりする動作を隊形を変えながら行う。

5 保存会や地域との連携の具体

平成14年、創立100周年記念式典で披露したのを機に毎年運動会でプログラムに位置付けて踊っている。「池間棒踊り」を総合的な学習の時間で学習する際は、「池間棒踊り保存会」の方がゲストティーチャーとして踊りの形を指導したり、歌を歌ったりしながら練習に関わってくださっている。

本番の秋季大運動会では、一緒に参加して太鼓や歌、かけ声を担当してくださっている。また、「池間棒踊り」の発表の機会を増やそうということで平成29年から地域の敬老会では、子ども育成会の保護者が中心となって児童の「池間棒踊り」を披露している。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

ふるさと教育として総合的な学習の時間の6時間を使い伝承活動を行っている。昨年度の動画を視聴したり保存会の方の歌を録音して活用したりと自分たちだけでも練習ができるような体勢を整えている。また、練習の際は、上学年の児童が、初めて踊りに参加する学年をサポートする場を設定した。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



【運動会では保存会の方の歌で演技】



【白組は短い棒に持ち替えて】

8 参加児童・教職員・保存会の感想・意見

- ・ 夏休みには兄弟や近所の友達と一緒に、そして運動会前は、昼休みも自主的に練習しました。本番では、「サーサエイエイ」のかけ声もしっかり出せて多くの拍手をいただきうれしかったです。（児童）
- ・ 保存会の方が、練習、リハーサル、本番と熱心に足を運んでくださり細かい動きも指導してくださった。本番で自信たっぷりに演技する児童の様子を見てこれからも学校・地域が連携し、「池間棒踊り」の継承に関わっていったらよいと思った。（教職員）
- ・ 小学校の運動会で演技するにあたり、子供たちが一生懸命練習に取り組む姿に感動した。今後は、「池間棒踊り」を子供から青年部へとさらに継承を広げていきたい。（保存会）